



Cisco EPN Manager スタートアップガイド



(注) Cisco EPN Manager を初期使用のためにセットアップする必要がある管理者の場合は、[サーバーのセットアップタスク](#)を参照してください。

- [Web クライアントの要件](#) (1 ページ)
- [ログインおよびログアウト](#) (2 ページ)
- [を使用する前に完了する必要があるタスクのセットアップ Cisco EPN Manager](#) (3 ページ)
- [パスワードの変更](#) (4 ページ)
- [メイン ウィンドウ コントロールの使用](#) (4 ページ)
- [デフォルトのホーム ページの変更](#) (6 ページ)
- [ダッシュボードのセットアップと使用](#) (7 ページ)
- [別の仮想ドメインで作業する](#) (32 ページ)
- [ジョブ ダッシュボードを使用したジョブの管理](#) (33 ページ)
- [ユーザー設定の変更](#) (35 ページ)
- [Cisco EPN Manager 機能の拡張](#) (39 ページ)
- [最新のインベントリに存在をチェック Cisco EPN Manager マニュアル](#) (40 ページ)

Web クライアントの要件

次に、Cisco EPN Manager Web GUI のクライアントとブラウザの要件を示します。

- ハードウェア：以下のテスト済みサポート対象ブラウザのいずれかに対応している Mac または Windows のラップトップかデスクトップ。
- ブラウザ：



注 1つのブラウザセッションで Cisco EPN Manager のタブを同時に 3 つまで開くことができます。

- Google Chrome バージョン 74 ~ 84
- Mozilla Firefox ESR 60
- Mozilla Firefox バージョン 67 ~ 79
- Microsoft Internet Explorer (IE) 11.0 (廃止)



⚠ Internet Explorer のユーザーは、他のブラウザと比べて動作が遅いと報告しています。一部の GUI ページは IE でロードするのに時間がかかるためです。Microsoft Internet Explorer (IE) 11.0 は廃止されます。

- 推奨される表示解像度 : 1600 X 900 ピクセル以上 (最小 : 1366 X 768)

ロード時間を短縮し、ネットワーク帯域幅の使用量を削減するために、Cisco EPN Manager は同じバージョンの Cisco EPN Manager (Firefox および IE ブラウザ) のブラウザに静的ファイル (js、css) をキャッシュします。



(注) Google Chrome では、自己署名証明書に関する既知の制限により、すべてのキャッシングディレクティブが無視され、ページコンテンツがリロードされます。

ログインおよびログアウト


GUI にログインするには、Web ブラウザのアドレス フィールドに次のように入力します。
server-ip は Cisco EPN Manager サーバーの IP アドレスです。

https://server-ip



(注) Cisco EPN Manager にログインするときに、ブラウザにユーザー名とパスワードを自動入力したり保存したりしないでください。

ネットワーク設定に応じて、ブラウザを初めて Cisco EPN Manager Web サーバーに接続するときは、クライアントブラウザを更新してサーバーのセキュリティ証明書を信頼する必要があります。ユーザー固有のクライアント証明書を生成してブラウザにインポートすることもできます。これにより、ユーザーは Cisco EPN Manager にログインできます。これらの生成されたクライアント証明書を使用すると、ユーザー名とパスワードを指定せずにログインできます。これらの生成されたクライアント証明書をブラウザに更新する場合は、パスワードが必要です。これにより、クライアントと Cisco EPN Manager Web サーバー間の接続のセキュリティが保証されます。

ログアウトするには、Cisco EPN Manager ウィンドウの右上にある  をクリックし、[ログアウト (Log Out)] を選択します。

Cisco EPN Manager ユーザーとそのユーザーが実行できる操作については、次を参照してください。

- **Cisco EPN Manager で CLI ユーザー インターフェイスを切り替える方法** : Cisco EPN Manager でサポートされているすべてのユーザークラス (さまざまな CLI ユーザーアカウントを含む) について説明します。
- **ユーザー グループのタイプ** : Web GUI ユーザーが毎日実行できる機能を制御できるユーザー グループ メカニズムについて説明します。ユーザー インターフェイスで表示できるものと操作できるものは、ユーザーアカウント権限によって制御されます。このトピックでは、デバイスのロールベースアクセスコントロール (RBAC) を管理する仮想ドメインメカニズムについても説明します。


を使用する前に完了する必要があるタスクのセットアップ Cisco EPN Manager

Cisco EPN Manager 機能を使用するには、管理者が次のタスクを完了する必要があります。

表 1: セットアップタスクと参照

Cisco EPN Manager を使用する前に完了する必要があるタスク	詳細については、次を参照してください。
Cisco EPN Manager サーバーのセットアップと設定を行います。	サーバーのセットアップ タスク
デバイスとネットワークの管理を簡素化するために、デバイスを Cisco EPN Manager に追加してデバイス グループを作成します。	デバイスの追加と整理
ネットワークで使用されるインターフェイスとテクノロジーのモニターリングを有効にします。	デバイスおよびネットワークの健全性とパフォーマンスのモニター
展開に合わせアラームとイベントの動作 (アラームやイベントの更新頻度、電子メール、トラップレシーバなど) をカスタマイズします。	アラームとイベント管理の設定

パスワードの変更



パスワードは、Cisco EPN Manager ウィンドウの右上にある  をクリックし、[パスワードの変更 (Change Password)] を選択することによって、いつでも変更できます。? ([ヘルプ (help)]) アイコンをクリックして、パスワードポリシーを確認します。

(オプション) [新しいパスワードを生成 (Generate New Password)] ボタンをクリックして、システムによって生成されるセキュアなパスワードを設定します。このボタンをクリックすると、新しいパスワードが隣のテキストボックスに表示されます。[新しいパスワード (New password)] および [パスワードの確認 (Confirm password)] テキストボックスにも同じものが表示されます。目のアイコンをクリックするとパスワードの表示/非表示が切り替わります。[コピー (Copy)] ボタンをクリックして、パスワードをクリップボードにコピーすることもできます。

ダイアログボックス内の値をクリアするには、[リセット (Reset)] ボタンをクリックします。

メインウィンドウコントロールの使用

Cisco EPN Manager タイトルバーの左上には、次のコントロールがあります。


	[メニュー (Menu)] ボタン：左側のメインの Cisco EPN Manager ナビゲーションメニューを切り替えます (左側のサイドバーメニューとも呼ばれます)
	[ホーム (Home)] ボタン：ホームページ (通常は [概要 (Overview)] ダッシュボード) に戻ります。

タイトルバーの右側には、使用しているユーザー名と仮想ドメインが表示されます。仮想ドメインは、デバイスの論理的なグループです。仮想ドメインは、ネットワークのデバイスや領域にアクセスする人物を制御するために使用されます。割り当てられている仮想ドメインを切り替えるには、[別の仮想ドメインで作業する \(32 ページ\)](#) を参照してください。



root - ROOT-DOMAIN



	Web GUI のグローバル設定ボタン：ログアウト、パスワードの変更、Cisco.com のアカウントプロフィールの表示、GUI 設定の調整、Cisco.com のサポート事例の確認、オンラインヘルプの起動
---	---


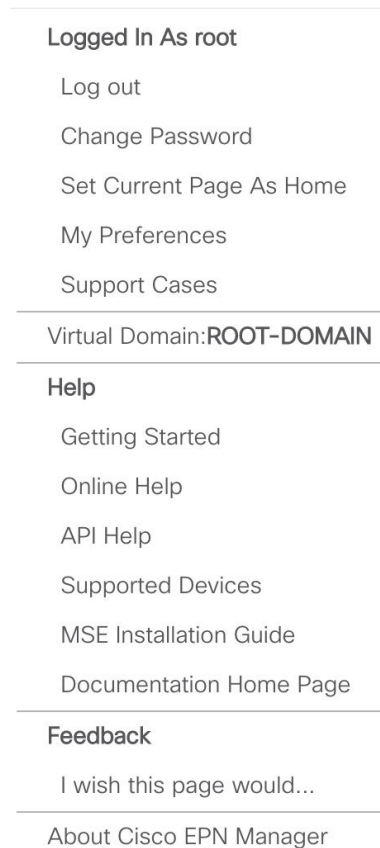
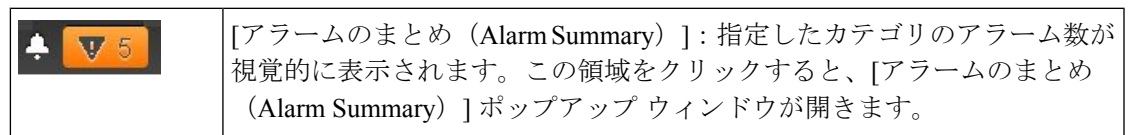
タイトルバーの右側の  をクリックすると、ウィンドウ設定メニューが開きます。

図 1: ウィンドウ設定



最後に、[アラームのまとめ (Alarm Summary)] には、ネットワーク内のアラーム数が視覚的に示されます。色は最も重大度の高いアラームを示します。



[アラームのまとめ (Alarm Summary)] ボタン (次の図で丸で囲んだボタン) をクリックすると、Cisco EPN Manager で [アラームのまとめ (Alarm Summary)] ポップアップ ウィンドウが開きます。ボタンとポップアップウィンドウの両方で表示されるデータをカスタマイズすることができます。この例では、ボタンではスイッチとハブおよびシステムアラームの数が表示され、[アラームのまとめ (Alarm Summary)] ポップアップでは次の図にリストされているすべてのアラーム カテゴリが表示されます。

Category	Critical	Major	Minor
Alarm Summary	0	5	2
Application Performance	0	0	0
Carrier Ethernet	0	0	0
Cisco Interfaces and Modules	0	0	0
Performance	0	0	0
Routers	0	0	1
Security	0	0	0
Switches and Hubs	0	4	1
System	0	1	0

Last Updated: Tuesday, February 10 2015, 03:42 PM [View Details](#)

デフォルトのホーム ページの変更

次のタスクを実行したときに、どのページが表示されるようにするかを指定できます。

- Web GUI タイトル バーの左側にある をクリックしたとき
- Cisco EPN Manager Web GUI にログインするとき

この設定はユーザー単位で保存されます。この設定は、他のユーザーに影響を与えることなく、いつでも変更できます。

ステップ 1 希望のページが表示されている状態で、Cisco EPN Manager Web GUI の右上にある をクリックします。

ステップ2 [現在のページをホームとして設定 (Set Current Page as Home)] を選択します。

ダッシュボードのセットアップと使用

ダッシュボードには、ネットワークにおける最重要データの概要が表示されます。これらは、ステータス、アラート、モニターリング、パフォーマンス、レポートの情報を提供します。ユーザーにとって重要な情報のみが表示されるように、これらのダッシュボードをカスタマイズできます。デフォルトのホームページとして[ネットワーク概要 (Network Summary)]ダッシュボードを設定することをお勧めします。そうすれば、ログイン後にこのダッシュボードが表示され、何かを実行する前に、ネットワーク全体の健全性をすばやく確認できます。デフォルトのホームページとしてダッシュボードを設定するには、[デフォルトのホームページの変更 \(6 ページ\)](#) を参照してください。

以下のダッシュボードを使用して、ネットワークをモニターしたり、管理したりします。



(注) ダッシュボードにデータを表示するには、関連するモニターリングポリシーを有効にする必要があります。デフォルトでは、デバイスのヘルスマニターリング (デバイスヘルスマニターリングポリシー) のみが有効になっています。詳細については、[デバイスのヘルスとパフォーマンスのモニター方法：モニターリングポリシー](#)を参照してください。

- [ネットワーク概要 (Network Summary)]ダッシュボード：ネットワーク全体の健全性を確認します。「[\[ネットワークサマリー \(Network Summary\)\]ダッシュボードの概要](#)」を参照してください。
- [サービスパフォーマンス (Service Performance)]ダッシュボード：キャリアイーサネットおよびオプティカルサービスのパフォーマンスをモニターします。「[\[サービスパフォーマンス \(Service Performance\)\]ダッシュボードの概要](#)」を参照してください。
- [パフォーマンス (Performance)]ダッシュボード：インターフェイス、QoSポリシー、ITU-T Y.1731プローブなどのネットワークコンポーネントのパフォーマンス測定指標の概要を示します。「[\[パフォーマンス \(Performance\)\]ダッシュボードの概要](#)」を参照してください。
- [デバイストレンド (Device Trends)]ダッシュボード：特定のデバイス、アプリケーション、サービスのパフォーマンスに関する情報を表示します。「[\[デバイストレンド \(Device Trends\)\]ダッシュボードの概要](#)」を参照してください。
- [DWDM/OTNパフォーマンス (DWDM/OTN Performance)]ダッシュボード：ネットワーク内の高密度波長分割多重 (DWDM) インターフェイスおよび光トランスポートネットワーク (OTN) インターフェイスのパフォーマンスに関する情報を表示します。「[\[DWDM/OTNパフォーマンス \(DWDM/OTN Performance\)\]ダッシュボードの概要](#)」を参照してください。

管理者権限を持つユーザーは、次のダッシュボードも使用できます。

- [ライセンス (Licensing)]ダッシュボード : を参照してください。 「[ライセンスダッシュボードの表示](#)」を参照してください。
- [ジョブ (Jobs)]ダッシュボード : [ジョブダッシュボードを使用したジョブの管理](#) (33 ページ) を参照してください。
- [システム モニターリング (System Monitoring)]ダッシュボード : [システム監視ダッシュボードを使用して、Cisco EPN Manager サーバーのヘルス、ジョブ、パフォーマンス、および API 統計をチェックする](#)を参照してください。

次の点に注意してください。

- ダッシュボード ウィンドウの各部分の説明およびダッシュボードフィルタの使用方法については、[ダッシュボードの使用法](#) (24 ページ) を参照してください。
- ダッシュボードデータの問題をトラブルシューティングするには、「[ダッシュボードのデータが不足している理由の特定](#)」を参照してください。

ダッシュボードのタイプ

以下のトピックでは、Cisco EPN Manager で使用可能なダッシュボードについて説明します。

[サービス パフォーマンス (Service Performance)]ダッシュボードの概要

[サービス パフォーマンス (Service Performance)]ダッシュボードから、指定した時間内の特定の回線、VC、サービスに関するパフォーマンス統計を表示できます。このダッシュボードを開くには、[ダッシュボード (Dashboard)]>[サービス パフォーマンス (Service Performance)]> の順に選択し、以下の表に示されているいずれかのタブを選択します。

ダッシュボードタブ	提供される情報
[CEM]	<p>選択した回線エミュレーション (CEM) 回線について：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 名前、タイプ、作成日などの詳細 • 統計情報 (回線のエンドポイントの統計情報を切り替えることができます) • 伝送中に失われたパケットの数 • 宛先に到着するまでに、ジッターバッファで順序変更されたパケットの数 • ジッターバッファのオーバーランとアンダーランの数 • 順序が正しくないパケット、および後続がドロップされたパケットの数 • 不正なパケットの数 • エラー、重大なエラー、または利用不可であった秒数 • 失敗したイベント • 生成および受信された明示的なポインタ調整リレー カウンタ (LビットとPビットなど) の数をグラフ化するダッシュレット <p>(注) これらのダッシュレットを表示するには、CEMと疑似回線エミュレーション (エッジ間) の両方のモニターリングポリシーを有効にする必要があります。モニターリングポリシー リファレンスを参照してください。</p>
[TE トンネル (TE Tunnel)]	<p>選択したトラフィック エンジニアリング (TE) トンネル回線について：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 名前、サービスを行える状態か、関連付けられたエンドポイントなどの詳細 • サービス統計情報 • 発信トラフィック、帯域幅使用率、および予約帯域幅 • サービスの可用性

ダッシュボード タブ	提供される情報
[SRポリシー (SR Policy)]	<p>選択したセグメントルーティング (SR) ポリシーの場合 :</p> <ul style="list-style-type: none"> • 名前、サービスを行える状態か、関連付けられたエンドポイントなどの詳細 • サービス統計情報 • 発信トラフィック、帯域幅使用率、および予約帯域幅 • サービスの可用性
[CE/L3VPN]	<p>選択した回線または VC について :</p> <ul style="list-style-type: none"> • 名前、検出の状態、最終変更時刻などの詳細 • 次のパラメータの値が最も高い回線および VC を一覧表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • エンドポイント間の平均のトラフィック • QoS クラス トラフィックおよびドロップ <p>(注) インバウンドデータとアウトバウンドデータを切り替えることができます。[上位NのサービスQoS クラストラフィック (Top N Service QoS Class Traffic)] ダッシュレットで、ポリシー前データとポリシー後データを切り替えることもできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 着信および発信 QoS ドロップ • サービス トラフィックおよび可用性 • 双方向遅延、一方向ジッター、およびサービス損失 • EVC 用の IPSLA ダッシュボードまたは L3VPN サービス用の Y.1731 ダッシュボードをクロス起動できるサービスプロープのエンドツーエンドパフォーマンス統計。
[上位CE/L3VPN (Top CE/L3VPN)]	<p>次のパラメータの値が最も高い回線および VC を一覧表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 遅延 • ジッター • サービス損失 • トラフィック (インバウンドとアウトバウンドの両方) <p>CE と L3VPN サービスの情報を切り替えることができます。</p>



(注) ダッシュボード タブのコンテンツとレイアウトをカスタマイズする方法については、「[ダッシュボード タブのカスタマイズ](#)」を参照してください。

[パフォーマンス (Performance)]ダッシュボードの概要

[パフォーマンス (Performance)]ダッシュボードでは、インターフェイス、QoS ポリシー、ITU-T Y.1731 プローブなどのネットワーク コンポーネントに関するパフォーマンス測定指標の概要を確認できます。このダッシュボードを開くには、次の表で説明するタブの **[ダッシュボード (Dashboard)]** > **[パフォーマンス (Performance)]** > を選択します。

ダッシュボードタブ	提供される情報
[インターフェイス (Interfaces)]	<p>選択したインターフェイスについて、次の情報が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 名前、配置されたデバイスの IP アドレス、設定速度などの詳細 • 次のパフォーマンス メトリックの平均値、最小値、最大値（インバウンドデータとアウトバウンドデータについて収集されたメトリック間を切り替えることができます）。 <ul style="list-style-type: none"> • トラフィック • 使用率 • エラー • 破棄 • 巡回冗長検査 (CRC) エラー <p>(注) CRC エラーデータはデフォルトではポーリングされません。このデータの収集を有効にするには、インターフェイスヘルスマニタリングポリシーの CRC パラメータのポーリング頻度を選択します（「Change the Polling for a Monitoring Policy」を参照してください）。</p> • [インターフェイスの統計情報 (Interface Statistics)]ダッシュレットにリストされているパフォーマンスメトリックをグラフ化する個々のグラフ • インターフェイスの可用性 • 上位 N 個の QoS クラス マップ ポリシーのグラフ（インバウンドおよびアウトバウンドのポリシー前レート、ポリシー後レート、およびドロップ率） • QoS クラス マップ ポリシー統計（インバウンドとアウトバウンド）

ダッシュボードタブ	提供される情報
[QoS]	<p>選択した QoS ポリシーについて、次の情報が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 要約情報 • ポリシー前、ポリシー後、および破棄されたクラスマップトラフィックに関する統計とグラフ • 適合クラスマップトラフィック、超過クラスマップトラフィック、および違反クラスマップトラフィックに関する統計とグラフ
[Y1731]	<p>選択したプローブ上のレイヤ 2 サービスについて、次の情報が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 要約情報 • ITU-T Y.1731 の統計 • エンドポイント間の遅延、ジッター、フレーム損失、CCM フレーム損失 • ジッター統計情報 • 遅延統計情報 • エンドポイントの可用性 <p>(注) ビン統計データはデフォルトではポーリングされません。このデータの収集を有効にするには、IP SLA Y.1731 モニタリングポリシーのビン統計パラメータのポーリング頻度を選択します（「モニタリングポリシーのポーリングの変更」を参照してください）。</p>
[IP SLA]	<p>選択したプローブ上のレイヤ 3 サービスについて、次の情報が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 要約情報 • IP サービス レベル契約 (SLA) の統計 • エンドポイント間の遅延、ジッター、およびフレーム損失 • エンドポイントの可用性

ダッシュボードタブ	提供される情報
[BNG の統計 (BNG Statistics)]	<p data-bbox="777 296 1479 365">選択したデバイスに関する次のブロードバンドネットワーク ゲートウェイ (BNG) 情報が表示されます。</p> <ul data-bbox="813 386 1479 764" style="list-style-type: none"><li data-bbox="813 386 1479 455">• 名前、IP アドレス、製品タイプ、ソフトウェアバージョンなどの詳細<li data-bbox="813 476 1479 546">• 設定された IP プールの名前と、各プールで使用されるアドレスの数と割合<li data-bbox="813 567 1479 636">• 選択された IP プールの使用済みアドレスまたは空きアドレスの数をグラフ化したチャート<li data-bbox="813 657 1479 764">• ラインカードとセッションタイプ別の認証済みサブスクリイバとアップサブスクリイバのセッション数をグラフ化したチャート <p data-bbox="777 800 1105 833">次の点に注意してください。</p> <ul data-bbox="813 854 1479 1010" style="list-style-type: none"><li data-bbox="813 854 1479 924">• チャートの下をチェックボックスを使用して、情報を表示する項目を選択します<li data-bbox="813 945 1479 1010">• グラフ上の任意のポイントにカーソルを移動すると、その特定の時刻の選択した項目の値が表示されます

ダッシュボードタブ	提供される情報
[ME1200 QoS]	<p>Cisco ME 1200 デバイス上で選択したサービスに関する次の Quality of Service (QoS) 情報が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • デバイスの名前などの詳細、このデバイスと関連付けられている顧客、そのユーザー ネットワーク インターフェイス (UNI) ポート。 • 緑色 (適合) トラフィック、黄色 (超過) トラフィック、赤色 (違反) トラフィック、および廃棄トラフィックの平均ビット レートと平均フレーム レート。インバウンドトラフィック データとアウトバウンドトラフィック データを切り替えることができます。 • [ME1200 QoSの統計情報 (ME1200 QoS Statistics)]ダッシュレットに表示されたトラフィックタイプで測定されるトラフィックをグラフ化したグラフ。 <p>次の点に注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 5つのトラフィック グラフが提供されます。トラフィック タイプごとに1つのグラフと1つの統合グラフ。 • フレーム レート (1秒あたりのフレーム数) またはビット レート (1秒あたりのキロビット数) でデータ表示を切り替えることができます。 • このチャートの下にある適切なチェックボックスを選択すると、グラフに表示される要素を指定できます。統合されたトラフィック ダッシュレットでは、トラフィック タイプを指定できます。個々のトラフィック ダッシュレットでは、サービスに関連付けられた1つまたは複数の EVC 制御エントリ (ECE) を指定できます。

ダッシュボードタブ	提供される情報
[光 SFP (Optical SFPs)]	<p>選択された Small Form-Factor Pluggable (SFP) トランシーバモジュール インターフェイスの場合 :</p> <ul style="list-style-type: none"> • 名前、インターフェイスが配置されているデバイスの名前と IP アドレス、設定速度などの詳細 • 次の操作メトリックの平均値、最小値、最大値。 <ul style="list-style-type: none"> • 光入出力電力 • 動作温度 • トランシーバ供給電圧 • レーザー バイアス電流 • [SFPの統計情報 (SFP Statistics)] ダッシュレットにリストされている操作メトリックをグラフ化する個々のグラフ
[SONET/TDM インターフェイス (SONET/TDM Interfaces)]	<p>選択した SONET または 時分割多重 (TDM) インターフェイス用。</p> <ul style="list-style-type: none"> • その名前、設定速度、格納先のデバイスの IP アドレスなどの詳細 • 次のパフォーマンス メトリックの平均値、最小値、最大値。 <ul style="list-style-type: none"> • エラー秒数 • 重大エラー秒数 • C ビットの重大エラー秒数 • P ビットの重大エラー秒数 • 使用不可秒数 <p>インターフェイスの近端 (受信側) と遠端 (送信側) の両方の値が提供されます</p> <ul style="list-style-type: none"> • [SONET/TDMの統計情報 (SONET/TDM Statistics)] ダッシュレットにリストされているパフォーマンスメトリックをグラフ化する個々のグラフ

ダッシュボードタブ	提供される情報
[デバイス センサー (Device Sensors)]	<p>選択したデバイスのセンサーの場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> 名前 説明 測定のタイプ 現在の値 <p>現在の値で [i] アイコンをクリックすると、過去 6 時間のトレンドが表示されます。</p>
[MPLSリンクの遅延 (MPLS Links Latency)]	<p>選択したリンクに関する次の詳細を取得できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> リンク名、エンドポイントデバイス、インターフェイスなどのリンクの詳細。 リンク遅延 (一方向および双方向)。 <p>(注) [上位N個のMPLSリンク (Top N MPLS Links)] テーブルの [リンク名 (Link Name)] をクリックして、選択したリンクのMPLSリンクダッシュボードを起動できます。</p>

次の点に注意してください。

- インターフェイスモニターリングは、デフォルトで有効になりません。このチェック方法については、[Cisco EPN Manager によるモニターリング対象のチェック](#)を参照してください。
- ダッシュボードタブのコンテンツとレイアウトをカスタマイズする方法については、「[ダッシュボードタブのカスタマイズ](#)」を参照してください。

[ネットワーク サマリー (Network Summary)]ダッシュボードの概要

[ネットワーク サマリー (Network Summary)]ダッシュボードは、ネットワークに現在影響を与えている最も重要な問題を警告します。また、さまざまなソースからメトリックを収集して、重要業績評価指標 (KPI) のセットを表示します。このダッシュボードを開くには、次の表で説明するタブの [ダッシュボード (Dashboard)]>[ネットワーク サマリー (Network Summary)]> を選択します。

ダッシュボード タブ	提供される情報
[ネットワーク デバイス (Network Devices)]	<ul style="list-style-type: none"> • ステータス (ICMP 到達可能性、SNMP 到達可能性、デバイス管理性)、システムヘルス、およびアラームの概要メトリック ダッシュレット 次の点に注意してください。 <ul style="list-style-type: none"> • メトリック ダッシュレットによって提供される情報を説明しているポップアップウィンドウを開くには、その名前の上にカーソルを移動してから、[?] アイコンをクリックします。 • 特定のメトリックに対応するアラームやデバイスを一覧表示するページを開くには、ダッシュレット値をクリックします。たとえば、[SNMP到達可能性ステータス (SNMP Reachability Status)]ダッシュレットが現在 50 デバイスは SNMP 経由で到達可能であることを示す場合、[50] をクリックして [ネットワークデバイス (Network Devices)] ページを開き、これらのデバイスのリストを表示します。 • CPU 使用率、メモリ使用率、および環境温度別の上位 N 個のデバイス [トップNの環境温度 (Top N Environmental Temperature)] ダッシュレットの場合、次に注意してください。 <ul style="list-style-type: none"> • 各デバイスについて、最高記録内部温度 ([取り入れ口最高温度 (Max Inlet Temp)] 列に表示) と最高記録周囲温度 ([その他の最高温度 (Max Other Temp)] に表示) の 2 つの温度値が表示されます。デフォルトでは、デバイスはその内部の温度で並べ替えられます。 • 特定の温度値を記録するセンサーを識別するには、その [i] ([情報 (information)]) アイコンにカーソルを合わせます。 • ネットワーク トポロジ

ダッシュボード タブ	提供される情報
[インシデント (Incidents)]	<ul style="list-style-type: none"> • システムヘルスダッシュレットとアラーム概要メトリックダッシュレット <p>次の点に注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • メトリックダッシュレットによって提供される情報を説明しているポップアップウィンドウを開くには、その名前の上にカーソルを移動してから、[?] アイコンをクリックします。 • 特定のメトリックに対応するアラームを一覧表示するページを開くには、ダッシュレット値をクリックします。たとえば、[アラーム概要 (Alarm Summary)]ダッシュレットがネットワークで12の重要なアラームが発生したことを示す場合、[12] をクリックして [アラーム (Alarms)] ページを開き、これらのアラームのリストを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • ネットワーク全体と Cisco EPN Manager サーバーのアラーム カウント • 上位 N 個のアラーム タイプ • Syslog の概要 • 上位 N 個のイベント タイプとそれらのカウント • 送信された syslog の数別の上位 N 個のデバイス • 対応するデバイス、重大度、メッセージテキストなどの syslog の詳細 • 発生したアラームの数別の上位 N 個のデバイス

ダッシュボード タブ	提供される情報
[上位 N 個のインターフェイス (Top N Interfaces)]	<p>選択されたポート グループについて、次の情報が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • インターフェイスの可用性と使用率の概要 • インターフェイストラフィック、エラーと破棄、巡回冗長検査 (CRC) エラー、および利用率による上位 N 個のデバイス <p>(注) CRC エラー データはデフォルトではポーリングされません。このデータの収集を有効にするには、インターフェイスヘルスマonitoring ポリシーの CRC パラメータのポーリング頻度を選択します (「Change the Polling for a Monitoring Policy」を参照してください)。</p> <ul style="list-style-type: none"> • インターフェイス可用性別の下位 N 個のデバイス <p>またこのタブのダッシュレット (概要ダッシュレットを除く) では、その [i] ([情報 (information)]) アイコンをクリックすることで、デバイスの隣接するデバイスまたはインターフェイスの 360 度ビューを開くことに留意してください。</p>
[上位 N 個の QoS (Top N QoS)]	<p>選択されたポート グループについて、次の情報が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • QoS ポリシー前、ポリシー後、およびドロップ レート別の上位 N 個のデバイス • 適合トラフィック レート、超過トラフィック レート、および違反トラフィック レート別の上位 N 個のデバイス <p>インバウンドトラフィック データとアウトバウンドトラフィック データを切り替えることができます。</p>
[上位 N 個の Y1731 (Top N Y1731)]	<p>次のパラメータの値が最も高いエンドポイントが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 遅延 (一方向および双方向) • ジッター (一方向) • フレーム損失
上位 N 個の MPLS リンク遅延 (Top N MPLS Links Latency)	<ul style="list-style-type: none"> • 遅延 (一方向および双方向) <p>(注) [上位 N 個の MPLS リンク (Top N MPLS Links)] テーブルの [リンク名 (Link Name)] をクリックして、選択したリンクの MPLS リンクダッシュボードを起動できます。</p>

ダッシュボード タブ	提供される情報
PTP/SyncE	<ul style="list-style-type: none"> • 時間の経過に伴う PTP クロッククラス (PTP Clock Class over time) • 時間の経過に伴うサーボ状態 (Servo State over time) • 時間の経過に伴う SyncE 品質レベル (SyncE Quality Level over time) <p>(注) Cisco EPN Manager は、[PTP/SyncE システム設定 (PTP/SyncE System Settings)]ページで設定した値を使用して、ダッシュボードにデータを表示します。詳細については、「PTP/SyncE ダッシュボードの設定 (22 ページ)」を参照してください。</p>

ダッシュレットの列を追加または削除して特定のデータを表示することができます。[上位N個のインターフェイス (Top N Interfaces)]、[上位N個のQoS (Top N QoS)]、および[上位N個のY1731 (Top N Y1731)]タブでは、[並べ替え (Sort by)]オプションを使用して、列に表示されるデータをソートすることもできます。

[上位N個のインターフェイス (Top N Interfaces)]と[上位N個のQoS (Top N QoS)]タブで次のことができます。

- 特定のデバイスグループおよび/またはポートグループを選択し、これらのデバイス/ポートの情報のみを表示します。
 - ポート/デバイスグループに基づいてすべてのダッシュレットのデータをフィルタ処理するには、ダッシュボードの上部の[ポートグループ (Port Groups)]フィルタを使用します。
 - 特定のダッシュレットのデータのみをフィルタ処理するには、ダッシュレットの[編集 (Edit)]アイコンをクリックして、[ポートグループ (Port Groups)]または[デバイスグループ (Device Groups)]ドロップダウンリストからデバイスまたはポートのグループを選択します。
- クラスマップでダッシュレットのデータをフィルタ処理します (デフォルトのクラスを除外することができます)。
- インターフェイスの名前リンクをクリックして、そのインターフェイスのパフォーマンスに関する情報を[パフォーマンス (Performance)]ダッシュボードに表示します。[上位N個のインターフェイス (Top N Interfaces)]タブでリンクをクリックすると、[インターフェイス (Interfaces)]タブが開きます。[上位N個のQoS (Top N QoS)]タブでリンクをクリックすると、[QoS]タブが開きます。
- インターフェイスモニターリングは、デフォルトで有効になりません。このチェック方法については、[Cisco EPN Manager によるモニターリング対象のチェック](#)を参照してください。
- ダッシュボードタブのコンテンツとレイアウトをカスタマイズする方法については、「[ダッシュボードタブのカスタマイズ](#)」を参照してください。

PTP/SyncE ダッシュボードの設定

PTP/SyncE ダッシュボードにデータを表示するために Cisco EPN Manager で使用するメトリックを設定するには、[管理者 (Administrator)] > [システム設定 (System Settings)] > [パフォーマンス (Performance)] > [PTP/SyncE] に移動します。必須項目としてメトリックを設定して [保存 (Save)] をクリックします。

セクション	説明	操作
PTP クロッククラス	[OK] または [低下 (Degraded)]、あるいは [エラー (Failure)] で報告される [PTP クロッククラス (PTP Clock Class)] の値の範囲を定義できます	0～255 の範囲全体から値を入力します。3つのカテゴリ間の値に重複がないことを確認します。
PTP サーボ状態	考えられる 5 つの PTP サーボ状態それぞれを Cisco EPN Manager が報告する方法を定義できます。	このセクションの 5 つの状態それぞれを [OK] または [低下 (Degraded)] あるいは [エラー (Failure)] に設定します。
SyncE の品質レベル	Cisco EPN Manager が [OK] として報告する SyncE の品質レベルを定義できます。デフォルトでは、Cisco EPN Manager で [OK] として 2 つの値を定義できます。必要に応じて 3 番目の値を追加するには、グレー表示のフィールドの横にあるチェックボックスをオンにします。[OK] として定義したものは別の SyncE QL 値は、[低下 (Degraded)] として報告されます。	ドロップダウンリストから値を選択します。
UTC Offset	システムに正しい UTC オフセットを定義できます。Cisco EPN Manager は、UTC オフセットに一致している値で設定されているデバイスを [正しい UTC オフセット (Correct UTC offset)]、この値に一致していないオフセットで設定されているデバイスを [不正な UTC オフセット (Incorrect UTC Offset)] と報告します。	0～65535 の範囲で値を入力します。

[デバイストレンド (Device Trends)]ダッシュボードの概要

[デバイストレンド (Device Trends)]ダッシュボードでは、特定のデバイス、アプリケーション、またはサービスのパフォーマンス情報を表示できます。このダッシュボードを開くには、次の表で説明するタブの [ダッシュボード (Dashboard)]> [デバイストレンド (Device Trends)]> を選択します。

ダッシュボードタブ	提供される情報
[デバイス (Device)]	デバイスを選択した場合： <ul style="list-style-type: none"> • CPU 使用率とメモリ使用率 • ヘルス情報 • ポート サマリー
[アプリケーション (Application)]	アプリケーションまたはサービスを選択した場合： <ul style="list-style-type: none"> • トラフィック レートとボリューム • トラフィック レートとボリューム別の上位N個のクライアント、サーバー、およびアプリケーション

次の点に注意してください。

- インターフェイスモニターリングは、デフォルトで有効になりません。このチェック方法については、[Cisco EPN Manager によるモニターリング対象のチェック](#)を参照してください。
- ダッシュボードタブのコンテンツとレイアウトをカスタマイズする方法については、「[ダッシュボードタブのカスタマイズ](#)」を参照してください。

[DWDM/OTNパフォーマンス (DWDM/OTN Performance)]ダッシュボードの概要

[DWDM/OTNパフォーマンス (DWDM/OTN Performance)]ダッシュボードには、特定の回線を通じて横断的に使用される DWDM インターフェイスおよび OTN インターフェイスのパフォーマンスに関する情報が表示されます。これには、物理、ODU、OTU、イーサネット、SONET、SDH のインターフェイスが含まれます。パフォーマンス情報は、インターフェイスタイプごとに異なるタブに表示されます。

このダッシュボードを開くには、次のいずれかを実行します。

- [ダッシュボード (Dashboard)]> [DWDM/OTNパフォーマンス (DWDM/OTN Performance)]> [回線 (Circuit)]を選択します。[インターフェイス (Interfaces)]ダッシュレットでインターフェイス名をクリックします。インターフェイスのタイプに関連するタブが開きます。たとえば、OTU インターフェイスをクリックすると [OTU] タブが開きます。

- インターフェイスの 360 ビューで、[ビュー (View)] > [パフォーマンス (Performance)] を選択します。

次の点に注意してください。

- インターフェイスモニタリングは、デフォルトで有効になりません。このチェック方法については、[Cisco EPN Manager によるモニタリング対象のチェック](#)を参照してください。
- ダッシュボードタブのコンテンツとレイアウトをカスタマイズする方法については、「[ダッシュボードタブのカスタマイズ](#)」を参照してください。

ダッシュボードの使用方法

次の図に、ダッシュボードウィンドウの主要な部分とそれらの調整に使用可能なコントロールを示します。

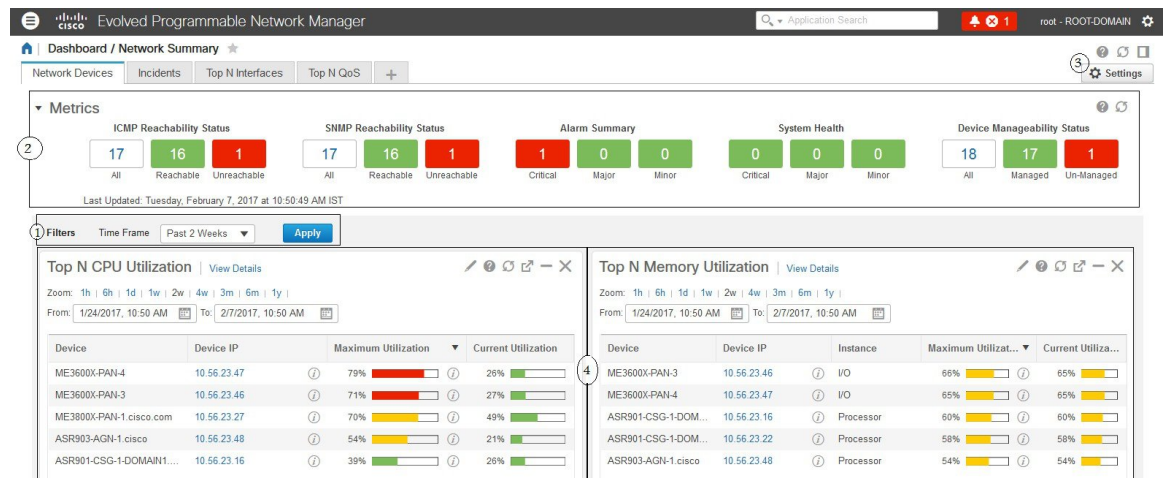
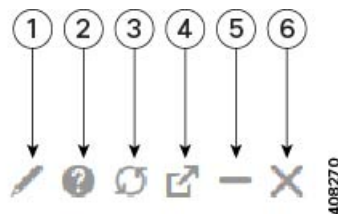


表 2: ダッシュボード要素

1	ダッシュボードフィルタ：選択に基づいてダッシュボード内のすべてのダッシュレットをフィルタ処理します。この例では、時間ベースのフィルタが使用されています。表示されるフィルタは、ダッシュボードタイプによって異なります。たとえば、パフォーマンスダッシュボードでは、特定のインターフェイス、デバイス、回線、または VC を選択する必要があります。
2	メトリックダッシュレット：アラームや使用可能なデバイスなどのクイックメトリックを提供します。

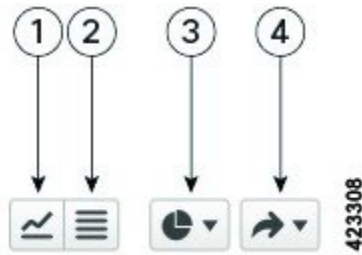
3	<p>ダッシュボードの設定とコントロール：</p> <ul style="list-style-type: none"> ダッシュボードアイコン：オンラインヘルプを起動したり、ダッシュボード全体を更新したり、[ドッキング (Dock)] ウィンドウを開いたりできます。 [ダッシュボード設定 (Dashboard Settings)] メニュー：ダッシュボードタブを追加または名前変更したり、新しいダッシュレット (標準とメトリックの両方) を追加したり、ダッシュボードのレイアウトを調整したり、すべてのダッシュボードをデフォルト設定にリセットしたり、選択したダッシュレットからデータをエクスポートしたりできます。 <p>(注) 新しく追加されたダッシュボードタブまたは名前を変更されたダッシュボードタブは、[タブ (Tab)] ビューにのみ表示できます。この変更は[ダッシュボード (Dashboard)] メニューには反映されません。</p>
4	標準ダッシュレット：ダッシュボードに関連する概要データを示します。

各ダッシュレットの右上に、そのダッシュレットが使用されたときにアクティブになるアイコンがあります。ダッシュレットタイプによって、使用可能なアイコンが決定されます。最も一般的なアイコンを次の図に示します。



1	[編集 (Edit)] アイコン：クリックしてタイトル、更新間隔、表示されるデバイス数などのダッシュレットのプロパティを変更します (上位 N 件および下位 N 件のダッシュレットにのみ適用)。
2	[ヘルプ (Help)] アイコン：ダッシュレットの説明が記載されたポップアップ ウィンドウ、ダッシュレットでデータを収集するためにアクティブにする必要のあるモニタリングポリシーを示すポップアップ ウィンドウ、およびダッシュレットに適用可能なフィルタが一覧表示されたポップアップ ウィンドウを開く場合にクリックします。
3	[更新] アイコン：ダッシュレットに表示された情報を更新する場合にクリックします。
4	[切り離し (Detach)] アイコン：ダッシュレットをダッシュボード内の別の場所に移動する場合にクリックします。
5	[折りたたみ/展開 (Collapse/Expand)] アイコン：最大化されたダッシュレットと最小化されたダッシュレットを切り替える場合にクリックします。
6	[閉じる (Close)] アイコン：ダッシュボードからダッシュレットを削除する場合にクリックします。

チャートを提供するダッシュレットの右下隅に、次の図で強調表示されているボタンがあります。使用可能なボタンはダッシュレット間で異なります。



1	[チャートビュー (Chart View)] ボタン: クリックすると、ダッシュレットの情報がチャートとして表示されます。
2	[テーブルビュー (Table View)] ボタン: クリックすると、ダッシュレットの情報がテーブルとして表示されます。
3	[チャートタイプ (Chart Type)] ボタン: クリックして、ダッシュレットが表示するチャートのタイプ (バー、円グラフなど) と設定する任意のオプション (各要素に固有の塗りつぶしのパターンを表示するなど) を選択します。
4	[アクション (Actions)] ボタン: クリックして、ダッシュレットが提供する情報を印刷するか、.csv または .pdf 形式のファイルに情報をエクスポートします。

ダッシュボードの追加情報については、次のトピックを参照してください。

- [ダッシュボードのタイプ \(8 ページ\)](#)
- [ダッシュボードへのダッシュレットの追加 \(27 ページ\)](#)
- [新しいダッシュボードの追加 \(26 ページ\)](#)
- [ダッシュボードのデータが不足している理由の特定](#)

新しいダッシュボードの追加

新しいダッシュボードを作成するには、次の手順を実行します。新しいダッシュボードは、[ダッシュボードのタイプ \(8 ページ\)](#) にリストされているダッシュボードの1つに、新しいタブとして表示されます。

ステップ 1 関連する既存のダッシュボードを開きます。

たとえば、[パフォーマンス (Performance)] ダッシュボードに新しいタブを作成するには、[ダッシュボード (Dashboard)] > [パフォーマンス (Performance)] にあるいずれかのタブをクリックします。

ステップ 2 [+] ([新しいダッシュボードの追加 (Add New Dashboard)]) タブをクリックします。

[設定 (Settings)] メニューが開きます。

ステップ3 新しいダッシュボードの名前を入力し、[Apply] をクリックします。

ステップ4 新しいダッシュボードタブをクリックし、[事前定義のダッシュレットをダッシュボードに追加する \(28 ページ\)](#) の説明に従ってダッシュレットを追加します。

ダッシュボードタブのカスタマイズ

Cisco EPN Manager に表示されるダッシュボードのタブをカスタマイズするには、次の手順に従います。

ステップ1 [ダッシュボード (Dashboard)] > を選択し、カスタマイズするダッシュボードタブを選択します。

たとえば、[パフォーマンス (Performance)] ダッシュボードの [BNG] タブをカスタマイズする場合は、[ダッシュボード (Dashboard)] > [パフォーマンス (Performance)] > [BNG] を選択します。

ステップ2 必要に応じて、ダッシュボードのタブを調整します。

次のように調整できます。

- ダッシュレットをダッシュボード上の別の場所にドラッグします。
- タブの [設定 (Settings)] メニューから該当する項目を選択し、タブの名前の変更、新規ダッシュレットの追加（「[ダッシュボードへのダッシュレットの追加](#)」を参照）、タブのレイアウトの変更を行います。

新しく追加されたダッシュボードタブまたは名前が変更されたダッシュボードタブは、[タブ (Tab)] ビューにのみ表示できます。この変更は [ダッシュボード (Dashboard)] メニューには反映されません。

(注) 追加しようと考えているダッシュレットの概要を説明するポップアップウィンドウを開くには、[ダッシュレットの追加 (Add Dashlets)] ドロップダウンリストを展開し、目的のダッシュレットを見つけて、その名前の上にカーソルを置きます。

- フィルタを使用して表示する情報と適切な時間枠を指定してから、[適用 (Apply)] をクリックします。

ステップ3 タブにデータが表示されない場合は、トラブルシューティングを行います。

詳細については、「[ダッシュボードのデータが不足している理由の特定](#)」を参照してください。

ダッシュボードへのダッシュレットの追加

ダッシュボードには、2つのタイプのダッシュレットを追加できます。

- Cisco EPN Manager で提供される事前パッケージダッシュレット：ダッシュレットの一部はデフォルトでダッシュボードに表示されます。他のダッシュレットは、[設定 (Settings)] メニューにリストされ、必要に応じて追加できます。これらのダッシュレットにより、モニターする可能性の高い情報が提供されます（たとえば、デバイスの CPU 使用率、イン

事前定義のダッシュレットをダッシュボードに追加する

ターフェイスのエラーと破棄、トラフィック統計情報)。事前定義のダッシュレットをダッシュボードに追加する (28 ページ) を参照してください。

- デバイスのパフォーマンスをモニターするために作成するカスタムダッシュレット：これらのダッシュレットタイプは、[デバイストレンド (Device Trends)] ダッシュボードにのみ追加できます。「[デバイストレンド (Device Trends)] ダッシュボードへのカスタマイズ済みダッシュレットの追加」を参照してください。

事前定義のダッシュレットをダッシュボードに追加する

Cisco EPN Manager は、一般的に必要なネットワーク データを提供する、事前定義のダッシュレットのセットを提供します。デフォルトで、これらのダッシュレットのサブセットがすでにダッシュボードに含まれているため、すぐに使い始めることができます。これらの事前定義のダッシュレットとは別のダッシュレットをダッシュボードに追加するには、次の手順を実行します。



- (注) ダッシュレットを編集または削除するには、その右上にある該当するアイコンをクリックします (「ダッシュボードの使用方法」を参照)。

ステップ 1 サイドバーメニューで、[ダッシュボード (Dashboard)] を選択してから、ダッシュレットを追加するダッシュボードを選択します。

たとえば、[デバイス メモリ使用率 (Device Memory Utilization)] ダッシュレットを [デバイストレンド (Device Trends)] ダッシュボードに追加するには、[ダッシュボード (Dashboard)] > [デバイストレンド (Device Trends)] > [デバイス (Device)] を選択します。

ステップ 2 追加するダッシュレットを特定して追加します。

- ダッシュボードの右上で、[設定 (Settings)] をクリックしてから [ダッシュレットの追加 (Add Dashlets)] をクリックします。Cisco EPN Manager にそのダッシュボードに追加可能なダッシュレットが一覧表示されます。
- 特定のダッシュレットの概要を示すポップアップウィンドウを開くには、そのダッシュレットの名前の上にカーソルを置きます。次の図に示すように、ポップアップ ウィンドウには、ダッシュレットが提供するデータのソースと、ダッシュレットに適用可能なフィルタも表示されます。

Device	Device IP	Maximum Utilization	Current Utilization
C3560E cisco.com	172.20.118.231	92%	9%
ASR_Santyl_Reg cisco.com	10.104.240.153	58%	13%
SAM-5-SJ-CE cisco.com	172.23.208.131	22%	22%
ASR_Santyl_Reg cisco.com	10.104.240.153	22%	22%
SAM-5-SJ-CE cisco.com	172.23.208.131	13%	9%

- c) [追加 (Add)] をクリックして、選択したダッシュレットをダッシュボードに追加します。

ステップ 3 ダッシュレットにデータが入力されていることを確認します。

そうでない場合は、必要なモニターリングポリシーが有効になっているかどうかをチェックします (デバイスヘルスモニターリングポリシーだけがデフォルトで有効になります。これは、デバイス可用性、CPU とメモリ プールの使用率、および環境温度をチェックします)。

- a) ダッシュレットの右上で、その [?] ([ヘルプ (Help)]) アイコンをクリックして、ダッシュレットのポップアップ ウィンドウを開きます。
- b) [データ ソース (Data Sources)] 領域に表示された情報をチェックします。モニターリングポリシーが表示された場合は、そのポリシーがアクティブになっているかどうかをチェックします。 [Cisco EPN Manager によるモニターリング対象のチェック](#) を参照してください。

[デバイストレンド (Device Trends)] ダッシュボードへのカスタマイズ済みダッシュレットの追加

[デバイストレンド (Device Trends)] ダッシュボード内に、必要なデバイス パフォーマンス情報を提供するダッシュレットがない場合、カスタマイズしたテンプレートを使用するダッシュレットを追加して、デバイスに対して SNMP MIB 属性をポーリングすることができます。このようなダッシュレットをダッシュボードに追加するには、次の手順に従います。

始める前に

使用可能なモニターリングポリシーを調べて、必要な情報を収集するポリシーを判断します。ダッシュレットの作成時にポリシーを指定する必要があります。ニーズを満たすポリシーがない場合は、新しいパラメータをポーリングするポリシーを作成できます。 [サポートされないパラメータとサードパーティ デバイスを対象としたモニターリング ポリシーの作成](#) を参照してください。

ステップ 1 [ダッシュボード (Dashboard)] > [デバイストレンド (Device Trends)] > [デバイス (Device)] の順に選択します。

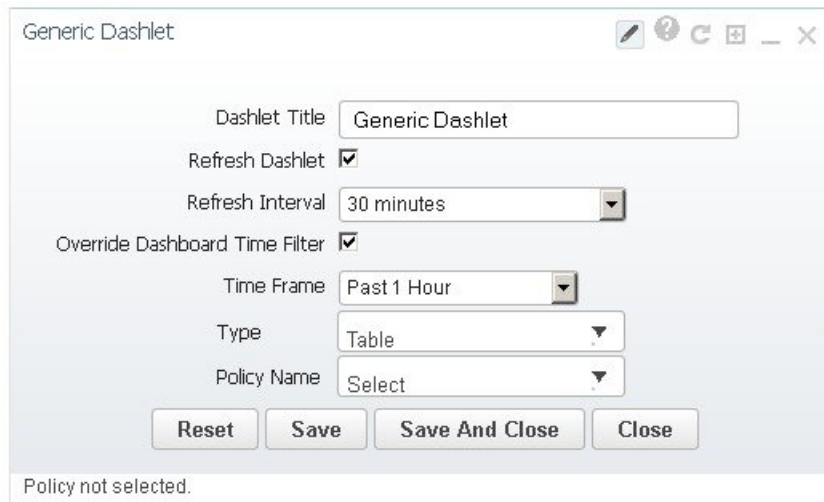
ステップ 2 ダッシュボードの右上隅にある [設定 (Settings)] をクリックして、[ダッシュレットの追加 (Add Dashlets)] を選択します。

ステップ 3 [デバイス ダッシュレット (Device Dashlets)] リストを展開します。

ステップ 4 [汎用ダッシュレット (Generic Dashlet)] を見つけて、[Add] をクリックします。

Cisco EPN Manager により、空白の汎用ダッシュレットが [デバイストレンド (Device Trends)] ダッシュボードに追加されます。

[ドック (Dock)]ウィンドウのカスタマイズ



ステップ 5 必要に応じて新しいダッシュレットを設定します。

少なくとも、次の設定を行う必要があります。

- [ダッシュレット タイトル (Dashlet Title)] フィールドに、わかりやすいタイトルを入力します。
- ダッシュボード内のすべてのダッシュレットに時間フィルタを適用しない場合は、[ダッシュボードの時間フィルタをオーバーライドする (Override Dashboard Time Filter)] チェックボックスをオンにします。
- [タイプ (Type)] ドロップダウンリストで、ダッシュレットのデータを表または線グラフのどちらで表示するかを選択します。(どちらを選択するかに関わらず、Cisco EPN Manager では、ダッシュレットの下部に、表示形式を変更するためのトグルが表示されます)。
- [ポリシー名 (Policy Name)] ドロップダウンリストから、このダッシュレットのデータを収集するモニターリングポリシーを選択します。使用可能なモニターリングポリシーについては、[モニターリングポリシー リファレンス](#)を参照してください。

ステップ 6 [保存して閉じる (Save and Close)] をクリックします。

データがダッシュレットに表示されない場合は、「[ダッシュボードのデータが不足している理由の特定](#)」を参照してください。

[ドック (Dock)]ウィンドウのカスタマイズ

[ドック (Dock)]ウィンドウを使用すると、頻繁に使用する Web GUI ページやポップアップウィンドウ (特定のデバイスの 360 度ビューなど) に素早く移動できます。このウィンドウでは、最近アクセスした 15 のページへのリンクと Cisco EPN Manager トレーニング資料へのリンクにもアクセスできます。このウィンドウを開くには、(ページの右上の領域にある) [ドック (Dock)] アイコンをクリックします。

[ドック (Dock)]ウィンドウに表示されるリンクを更新するには、次の手順に従います。

-
- ステップ 1** Web GUI ページのリンクを [お気に入り (Favorites)] タブ ([ドック (Dock)] アイコン > [アクセスしたリンク (Links Visited)] > [お気に入り (Favorites)]) に追加する場合 :
- 追加する Web GUI ページを開きます。
 - ページの左上の領域にある星の形をした ([お気に入り (Favorites)]) アイコンをクリックします。
- ステップ 2** ポップアップ ウィンドウのリンクを [ドッキング アイテム (Docked Items)] 領域 ([ドック (Dock)] アイコン > [ドッキング アイテム (Docked Items)]) に追加する場合 :
- 追加するポップアップ ウィンドウを開き、その 360 度ビューを開きます。
 - ポップアップ ウィンドウの右上隅にある [ドックに追加 (Add to Dock)] アイコンをクリックします。
-

ダッシュボードのデータが不足している理由の特定

ダッシュボードまたはダッシュレットからデータが欠落している場合、Cisco EPN Manager は次のような考えられる理由をダッシュレットにエラーメッセージで表示します。

- モニターリングポリシーが有効になっていません (Monitoring policy not enabled)
- システム内のデバイスが管理対象外か、または到達できません (Unmanaged or unreachable devices in the system)
- デバイスでテクノロジーがサポートされていません (Technology isn't supported on the device)
- サーバー時間が正確でないか、またはサーバー時間がデバイスと同期していません (Inaccurate server time or server time not synced with the device)

次の手順を実行して、原因を特定します。

-
- ステップ 1** ダッシュレットのデータがフィルタ処理されていないかを確認します。
- ダッシュレット名の隣に [編集済み (Edited)] と表示されている場合は、次の手順を実行します。
- [編集 (Edit)] アイコンをクリックし、現在のフィルタ設定を調整します。
 - [保存して閉じる (Save and Close)] をクリックします。
- ステップ 2** デバイスに問題があるかどうかをチェックします。
- [基本デバイス情報を取得する : \[デバイス 360 \(Device 360\) \] ビューを参照してください。](#)
- ステップ 3** デバイス インベントリが正しく収集されているかを確認します。
- [インベントリ収集またはディスカバリの問題があるデバイスの検索を参照してください。](#)
- ステップ 4** Cisco EPN Manager が使用しているモニターリング ポリシーを確認して、必要なデータが収集されているかどうかを確認します。
- ダッシュレットの [ヘルプ (Help)] アイコンをクリックして、ダッシュレットの概要ポップアップ ウィンドウを開きます。
 - [データ ソース (Data Sources)] の下に示されるモニターリング ポリシーを確認します。

モニタリング ポリシーについては、[モニタリング ポリシー リファレンス](#)で説明しています。

- c) [モニタリング ポリシー (Monitoring Policies)] ページにこのポリシーがリストされ、アクティブであることを確認します。

このページを開くには、[モニタリング (Monitor)] > [モニタリング ツール (Monitoring Tools)] > [モニタリング ポリシー (Monitoring Policies)] を選択し、[マイ ポリシー (My Policies)] を選択します。

- ポリシーがリストされていない場合は、ステップ 4d に進みます。
- ポリシーがリストされ、ステータスが [アクティブ (Active)] である場合には、[詳細 (Details)] をクリックして [収集データ (Collection Data)] ポップアップウィンドウを開き、デバイスがポリシーによってモニタリングされていることを確認します。そうでない場合は、[ポリシーでモニターするデバイス セットの変更](#)の説明に従ってポリシーを調整する必要があります。デバイスがポリシーに含まれている場合は、ステップ 5 に進みます。
- ポリシーがリストされ、ステータスが [非アクティブ (Inactive)] である場合には、ポリシーを選択して [アクティブ化 (Activate)] をクリックします。

- d) 新しいモニタリング ポリシーを作成してアクティブ化します。

[モニター対象を調整する](#)を参照してください。


ステップ 5 関連するデータがシステムから消去されていないかを確認します。

[データ保持設定が Web GUI データに及ぼす影響](#)を参照してください。

別の仮想ドメインで作業する

仮想ドメインは、デバイスの論理的なグループであり、特定のサイトやデバイスへのアクセスを制御するために使用されます。仮想ドメインは、物理サイト、デバイス タイプ、ユーザー コミュニティ、または管理者が選択するあらゆる指定項目に基づいて設定できます。すべてのデバイスは ROOT-DOMAIN に属します。ROOT-DOMAIN はすべての新しい仮想ドメインの親ドメインです。仮想ドメインの詳細については、[デバイスへのユーザーアクセスを制御するための仮想ドメインの作成](#)を参照してください。

複数の仮想ドメインへのアクセスが許可されている場合は、次の手順に従って別のドメインに切り替えることができます。

ステップ 1 タイトル バーの右側にある  をクリックします。

ステップ 2 [Virtual Domain: current-domain] を選択します。

ステップ 3 [仮想ドメイン (Virtual Domain)] ドロップダウン リストで別のドメインを選択します。

Cisco EPN Manager によって作業ドメインがただちに変更されます。

ジョブ ダッシュボードを使用したジョブの管理

適切なユーザー アカウント権限が付与されている場合は、ジョブ ダッシュボードを使用して Cisco EPN Manager ジョブを管理できます。ジョブ ダッシュボードを表示するには、[管理 (Administration)] > [ダッシュボード (Dashboards)] > [ジョブ ダッシュボード (Job Dashboard)] の順に選択します。ここでは、ジョブが正常に完了したか、部分的に成功したか、または失敗したかを確認できます。

実行中のジョブの数が多すぎると、Cisco EPN Manager ではリソースが使用可能になるまで他のジョブがキューに入れられます。これが原因で、スケジュールされているジョブがその通常の開始時刻を超えて遅延されると、そのジョブは実行されません。このジョブは手動で実行する必要があります。

一部のジョブでは承認が必要です。この場合は、Cisco EPN Manager から、管理者権限が付与されているユーザーに対し、ジョブがスケジュールされており承認が必要であることを通知する電子メールが送信されます。ジョブの承認後にジョブが実行されます。[ジョブ承認者を設定してジョブを承認する](#)を参照してください。

ジョブテーブルが自動更新される時間間隔を設定できます。ページの上隅にある [設定 (Settings)] をクリックし、[自動更新間隔の設定 (Set Auto Refresh Rate)] フィールドのドロップダウンリストから値を選択し、[保存 (Save)] をクリックします。



(注) ジョブテーブルの自動更新を無効にするには、ドロップダウンリストから [オフ (OFF)] を選択します。

次の表に、ジョブ ダッシュボードに表示されるボタンの説明を示します。

表 3: ジョブ ダッシュボードのボタン

ボタン	説明
[ジョブの削除 (Delete Job)]	ジョブ ダッシュボードからジョブを削除します。
[ジョブの編集 (Edit Job)]	選択したジョブの設定を編集します。

ボタン	説明
[スケジュールの編集 (Edit Schedule)]	シリーズのスケジュールを表示し、編集できるようにします（開始時刻、間隔、終了時刻）。 (注) スケジュール済みのジョブのスケジュールを編集すると、そのジョブのステータスが [承認待ち (Pending for Approval)] に変更されます。これは、ジョブを作成したユーザーからの承認が編集のたびに必要になるためです。
[実行 (Run)]	選択したジョブの新しいインスタンスを実行します。このボタンは、部分的に成功したジョブまたは失敗したジョブを再実行する場合に使用します。ジョブは、失敗したコンポーネントまたは部分的に成功したコンポーネントに対してのみ実行されます。
[中断 (Abort)]	現在実行中のジョブを停止します。ただしこのジョブは後で再実行できません。すべてのジョブを中断することはできません。これに該当する場合、Cisco EPN Manager がそのこのことを示します。
[シリーズをキャンセル (Cancel Series)]	現在実行中のジョブを停止し、このジョブを再実行できないようにします。ジョブがシリーズの一部の場合、今後の実行には影響しません。
[シリーズの一時停止 (Pause Series)]	スケジュールされているジョブシリーズを一時停止します。シリーズを一時停止にすると、([実行 (Run)])を使用して) そのシリーズのインスタンスを実行することはできません。
[シリーズの再開 (Resume Series)]	一時停止になっていたスケジュール済みジョブシリーズを再開します。



(注) [ジョブの削除 (Delete Job)]、[中断 (Abort)]、および[シリーズをキャンセル (Cancel Series)] ボタンは、システムジョブとポーラージョブの場合は使用できません。



(注) ルートユーザーとしてログインしている場合は、[ジョブダッシュボード (Job Dashboard)] ですべてのジョブを表示できます。非ルートユーザーとしてログインしている場合は、自分が実行したジョブのみを表示できます。

ジョブの詳細を表示するには、次の手順に従います。

ステップ 1 [管理 (Administration)]>[ダッシュボード (Dashboards)]>[ジョブダッシュボード (Job Dashboard)] の順に選択します。


- ステップ2** [ジョブ (Jobs)] ペインで、基本的な情報 (ジョブタイプ、ステータス、ジョブ期間、次回開始時刻など) を取得するジョブシリーズを選択します。
- ステップ3** ジョブ間隔を表示するには、ジョブ インスタンスのハイパーリンクをクリックします。
- ジョブ ページ上部の [繰り返し (Recurrence)] フィールドに、ジョブの繰り返し頻度が表示されます。ジョブ間隔の詳細は、トリガーするすべてのジョブで追加されます。ジョブの詳細ページは、ジョブが完了するまで5秒ごとに更新されます。
- ステップ4** 失敗したジョブまたは部分的に成功したジョブに関する詳細を確認するには、ジョブ インスタンスのハイパーリンクをクリックし、結果ページに表示されるエントリを展開します。
- これは特に、インベントリ関連のジョブで便利です。たとえば、ユーザーがCSVファイルを使用してデバイスをインポートした場合 (一括インポート)、ジョブは [ジョブ (Jobs)] サイドバー メニューの [ユーザー ジョブ (User Jobs)] > [デバイスの一括インポート (Device Bulk Import)] に表示されます。ジョブの詳細には、正常に追加されたデバイスと、追加されなかったデバイスのリストが表示されます。

例

失敗したソフトウェア イメージ インポート ジョブのトラブルシューティングを行うには、次の手順に従います。

1. [ジョブ (Jobs)] サイドバー メニューから、[ユーザー ジョブ (User Jobs)] > [ソフトウェア イメージのインポート (Software Image Import)] を選択します。
2. テーブルにある失敗したジョブを見つけ、そのハイパーリンクをクリックします。
3. ジョブの詳細がまだ展開されていない場合には展開し、このジョブに関連付けられているデバイスのリストと、各デバイスのイメージ インポートのステータスを表示します。
4. 特定デバイスのインポートの詳細情報を表示するには、[ステータス (Status)] 列でそのデバイスの [i] (情報) アイコンをクリックします。こうすると、[イメージ管理ジョブの結果 (Image Management Job Results)] ポップアップ ウィンドウが開きます。
5. 各ステップとステータスを確認します。たとえば、[プロトコル SFTP を使用したイメージの収集 (Collecting image with Protocol: SFTP)] 列に、そのデバイスで SFTP がサポートされていないことが示されることがあります。

ユーザー設定の変更

ユーザー設定を変更するには、画面の右上隅にある  アイコンをクリックし、[自分の環境設定 (My Preferences)] > [全般 (General)] を選択します。

カテゴリ	ユーザー プリファレンス設定	説明
リストページ (List pages)	ページあたりのリストの項目数 (Items Per Page List)	<p>この設定を使用して、AP、コントローラ、サイトマップ、[Roles, & AAA] > [Active Sessions] の [Monitoring] ページに表示されるエントリの数を定義します。</p> <p>デフォルトでは、50 のエントリが表示されます。</p> <p>(注) この設定は、ネットワークデバイス、アラームおよびイベント、設定アーカイブ、ソフトウェアイメージの管理、設定には適用されません。</p>
ネットワークトポロジ (Network Topology)	デバイスグループの選択を自動的に切り替えて、参加デバイスをすべて表示する (Automatically switch device group selection to show all participating devices)	<p>この設定を使用すると、デバイスグループの選択が自動的に切り替わり、トポロジビューにすべての参加デバイスが表示されます。デフォルトでは、この設定は無効になっています。</p>
	自動更新の間隔 (マップ、テーブル)	<p>この設定を使用して、ネットワークトポロジビューのマップとテーブルが更新される時間間隔を定義します。設定できる更新間隔は、30 秒、1 分、2 分、または 5 分です。マップとテーブルを更新しない場合は、[自動更新なし (No auto-refresh)] を選択します。</p> <p>デフォルトでは、更新間隔は 1 分です。</p>

カテゴリ	ユーザー プリファレンス設定	説明
サービスプロビジョニング	デフォルトテクノロジー	この設定を使用して、サービスプロビジョニングページに移動して新しいサービスを作成するときにデフォルトで選択されるテクノロジーを定義します。 (注) このユーザー設定が設定されていない場合、キャリアイーサネットがデフォルト値として設定されます。
	デフォルトのサービスタイプ	この設定を使用して、サービスプロビジョニングページに移動して新しいサービスを作成するときにデフォルトで選択されるサービスタイプを定義します。 (注) このユーザー設定が設定されていない場合、アクセス EPL がデフォルト値として設定されます。
シャーシビューの設定 (Chassis View Configuration)	UI 更新間隔 (UI refresh interval)	この設定を使用して、UI 内のデータがシャーシビューで更新される頻度を定義します。 デフォルトでは、UI の更新間隔は 1 分です。
	表示するシャーシラック (Chassis racks to display)	この設定を使用して、Cisco EPN Manager が表示するシャーシラックの数を定義します。 デフォルトでは、この値は 2 です。

カテゴリ	ユーザー プリファレンス設定	説明
デバイスインベントリリストビュー (Device Inventory List View)	デバイスリストテーブルの更新間隔 (Device List Table Refresh Interval)	<p>この設定を使用して、[ネットワークデバイス (Network Devices)] ページのテーブルが更新される時間間隔を定義します。設定できる更新間隔は、1分、2分、5分、10分、15分または30分です。テーブルを更新しない場合は、[更新しない (Do not refresh)] を選択します。</p> <p>この設定のデフォルト値は[更新しない (Do not refresh)] です。</p>
モビリティサービスエンジン (Mobility Services Engine)	MSE 管理ビューを使用 (Use MSE Admin view)	デフォルトで、この設定は有効になっています。

カテゴリ	ユーザー プリファレンス設定	説明
ユーザーアイドルタイムアウト (User Idle Timeout)	アイドル状態のユーザーをログアウト (Logout idle user)	この設定を使用して、アイドル状態のユーザーを自動的にログアウトするかどうかを定義します。デフォルトで、このオプションは有効になっています。 (注) この設定を無効にするには、最初に [システム設定 (System Settings)] で [グローバルアイドルユーザー (Global idle user)] がオフになっていることを確認します。
	指定時間後にアイドル状態のユーザーをログアウトする (Logout idle user after)	この設定では、自動ログアウトのアイドル時間も設定できます。デフォルトの値は10分です。 (注) この値は [システム設定 (System Settings)] の [グローバルアイドルタイムアウト (Global Idle timeout)] の値を超えることはできません。

必要な変更を加えたら、[保存 (Save)] をクリックして変更した設定を適用します。


ページレベルのカスタマイズおよび設定をクリアするには、EPNM ウィンドウの右上隅にある [GUIの状態設定のクリア (Clear GUI State Settings)] をクリックします。これにより、[ネットワーク概要 (Network Summary)] ダッシュボード、[パフォーマンスグラフ (Performance Graphs)]、[ネットワークデバイス (Network Devices)] などのページに行われたカスタム設定が削除され、アプリケーションがデフォルト値に更新されます。

[アラームおよびイベント (Alarms and Events)] のユーザー設定の詳細については、[アラームとイベントの表示設定のセットアップ](#)を参照してください。

Cisco EPN Manager 機能の拡張

上級ユーザーは、次のツールを使用して Cisco EPN Manager を拡張できます。

- Cisco Evolved Programmable Network Manager MTOSI API : Cisco EPN Manager を運用サポートシステム (OSS) と統合します。
- Cisco Evolved Programmable Network Manager REST API : その他の管理操作を管理します。

これらのツールに関する情報を確認するには、タイトルバーの右側にある  をクリックし、**[ヘルプ (Help)] > [APIヘルプ (API Help)]** を選択します。Cisco.com から、次のドキュメントをダウンロードすることもできます。

- [Cisco Evolved Programmable Network Manager MTOSI API ガイド \(OSS 統合\)](#)
- [Cisco Evolved Programmable Network Manager RESTCONF NBI ガイド](#)



(注) MTOSI NBI は廃止が進められており、デフォルトで無効になっています。MTOSI NBI を有効にする場合は、[Cisco Evolved Programmable Network Manager MTOSI API ガイド \(OSS 統合\)](#) を参照してください。

最新のインベントリに存在をチェック Cisco EPN Manager マニュアル

Cisco EPN Manager で提供されているすべてのドキュメントに関する情報およびリンクについては、『[Cisco Evolved Programmable Network Manager ドキュメントの概要](#)』を参照してください。



(注) マニュアルの発行後に、マニュアルをアップデートすることがあります。マニュアルのアップデートについては、Cisco.com で確認してください。
